

Gesuido Joshi Journal

GJ Journal

下水道分野で働く女性のマガジン

Vol.15

2018



関東
特集

地域別特集

GJリンク 平成29年度全国ワークショップ

平成30年1月17日に埼玉県川島町にあるG&U技術研究センターで「平成29年度全国ワークショップ」を開催しました。全国の地方公共団体、関係団体、民間企業等から、58人のGJが参集し、同センターの施設見学会とワークショップを行いました。日頃見ることのできない実規模での試験の様子を見ることができ、貴重な経験となりました。

Cover Photo 今月の表紙

関東

G&U技術研究センター

G&U技術研究センターは、高度な専門知識と技術力を基盤にマンホールの研究開発を行っている施設です。

施設名に使用されているG&Uは、Ground(地上空間)とUnderground(地下空間)を意味しており、地上におけるマンホールの蓋とその周辺道路、そして地下空間におけるマンホール本体と周辺管路までを研究領域に、これからの時代に求められる新しい「安全」に関する研究開発を目的として2005年に設立されました。



社会インフラの安全性能を客観的な視点から試験検証

G&U技術研究センターでは、最新の試験設備と高度な計測・測定技術を用いて客観的な視点から試験検証を行っています。

主な施設には、マンホールの基本的な構造や機能、マンホール蓋の進化について紹介する展示室、マンホール蓋の支持構造の耐久性を評価するための輪荷重走行試験、下水道管路内の様々な水理現象の再現やその影響を検証する水理シミュレーション、マンホール蓋の摩擦係数を測定する試験機などがあります。中でも、実製品を用いてマンホール蓋の耐圧性能を検証する浮上試験は圧巻。蓋の浮上や飛散防止のため、安全部品がついているマンホール蓋の必要性を痛感します。

昨今数々のメディアで話題となっているマンホール蓋。「路上の文化物」の一面を持ちながら、下水道事業になくてはならない存在であるマンホール蓋の最新技術がここで学べます。



マンホール蓋浮上飛散現象に繋がる水理モデル実験



実製品を用いたマンホール蓋の浮上試験



G&U技術研究センター施設見学の様子

【G&U技術研究センター】埼玉県比企郡川島町大字吹塚732-157

G&U技術研究センターでは、施設見学の受け入れを行っています。興味、関心を持たれた方はG&U技術研究センターウェブサイトをご覧ください。

施設見学について：<http://www.gucenter.co.jp/inspection/kengaku.html>

CONTENTS

02 | 今月の表紙

03 | 下水道女子が伝える下水道の魅力
私の下水道 ～関東GJ編～

07 | 【連載】
地下カン口を流れるよもやま話
GJ Photo Snap

08 | 【地域別特集】
GJリンク 平成29年度全国ワークショップ

10 | 【連載】
GKP HOTNEWS

11 | 【連載】
GJ Column
見つけちゃった!下水道あんなニュースこんなニュース

12 | 【連載】
GJのつぶやき
編集後記
次号予告

私の下水道

My Gesuido

公益財団法人神奈川県下水道公社
業務部四之宮管理センター 所長

川島 由美子

【仕事の紹介】 下水処理場業務の統括及び所属職員の指揮・監督をしています。

【ひとこと】 私が「GJ」という言葉を使うのはかなり無理がありますが・・・。
下水道に携わり34年、若い人たちのパワーをもらい(魔女ではありません)
ヨ)ながら日々業務に取り組んでいます。(写真 前列中央左が筆者です。)



四之宮管理センターについて

当社は、神奈川県民の飲み水として欠かすことのできない相模川・酒匂川の水質保全と流域市町の生活環境の改善を目的に、県及び流域市町(12市9町)から受託を受けて、処理場の運転管理や普及啓発、下水道技術に関する調査研究等を行っています。

両河川の左右岸、計4箇所の処理場がありますが、私の所属する四之宮管理センターは、相模川の右岸(平塚市)に位置し3市2

町約543,000人(処理区域人口)、約230,000m³/日(処理能力 322,800m³/日)、の下水を11名(土木職1名・電気職2名・機械職3名・化学職4名+県の電気主任技術者)で処理しています。



私のGJ(?)人生

私も入社後、処理場(3箇所)に25年、水質課に7年、さらに総務の仕事も2年といろいろ経験させていただいています。

当時は、往復約4時間の通勤や双子の育児(当時の産休は、産後6週間の時代でした。)に追われる日々。育児が一段落しても、家事や水防対応等の夜間や休日の呼出など年中寝不足。そんな状況を乗り越えてこられたのも、職場のGD・GJや家族の支えがあるからと感謝しています。通勤も、今では一人で過ごせる貴重な時間と考え、過ごし方は、かなりの達人になっていると自負しています。

そんな34年ですが、時代の変化が早いなど。月報などの報告書も当時は電卓叩いて手書き。右手の小指側を真っ黒にしていました。それが、ワープロになり、あっという間にパソコンです。便利になりました。ただ、私個人としては、字を書くことも減り、ボケの心配が拭えませんが。

でも一番の変化と言えば、女性の社会進出に伴い、GJ人口が多くなっていることとその存在が定着してきていること。当時、色々な研修や講習会に参加させていただきましたが、男性の中にポツンと一人。寂しかった記憶があります。

今年1月に行われたワークショップに参加させていただきましたが、全国から集まったGJの多さに驚くとともに、活発な意見が交わされている光景に、これからの下水道分野における女性の活躍を感じることができました。頼もしい限りです。

当社も、事務職・技術職合わせて11名(全職員65名中)のGJがいます。若手職員2名を除くと、皆、家庭を持ち子育て(私の場合、子育ては卒業し孫育に奔走中)との両立に頑張っています。当社のGDは、強面もいますが、皆、とっても優しく頼もしいです。今の所長という立場を何とかこなしているのもそんな支えがあるからと思ってます。GJは、家庭との両立等厳しいときもあると思いますが、大変な時は甘え、その分やれるときは積極的に業務に関わるというスタンスであれば、今後のGJの未来も明るいのかなど。私もあと少しですが、感謝を忘れず頑張ろうと思います。



私の下水道

わが社自慢

普及啓発 奮闘中



《下水道の見える化》が課題なのは当公社も同様。処理場としては見学者の対応、また企画課を中心に下水道作品コンクール・ふれあいまつり・下水道教室(出張教室・夏休み下水道教室・小学校教員向けの下水道サポーター講座)・流域市町の環境イベントへの参加と積極的に行っています。今年度の下水道ふれあいまつりでは「2016,2017」、下水道作品コンクールでは「2018」のミス日本『水の天使』にお手伝いいただきました。



私の下水道

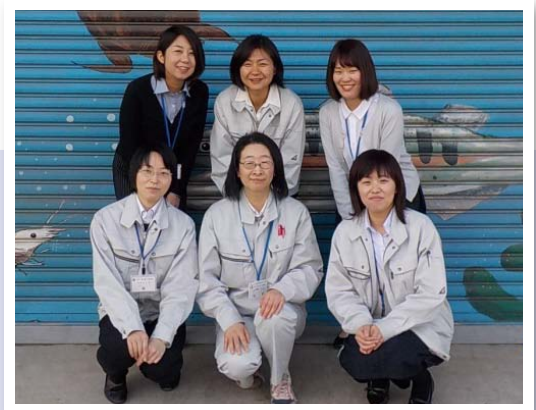
My Gesuido

埼玉県 坂戸、鶴ヶ島下水道組合
維持管理課 施設維持管理担当

吉瀬 みゆき

【仕事の紹介】 下水道施設の維持管理に関する業務。

【ひとこと】 女性の少ない職場ですと過ごしてきましたが、最近若GJがたくさん入って職場の雰囲気が華やかになりました。(前列真ん中筆者)



自己紹介

私は平成3年に採用され年数だけはベテランGJです。私が初めて配属されたのは(仮称)石井水処理センター準備室という、現在の石井水処理センターを建設する部署でした。下水道の知識もなく一体何をすればよいかわからない毎日でしたが、日々完成に近づいていく施設を見ながらワクワクしたことを覚えています。あれからあつという間に月日は流れ、現在は維持管理課施設維持管理担当主査として石井水処理センターに勤務して4年が経ちました。自分が建設に携わった施設で仕事ができるのは大変嬉しいことです。センターに配属された当初は管廊で迷ったり、機械の名前が覚えられなかったり…。周りの男性陣に助けをもらいながらなんとかやってきましたが、4年目になる現在もまだまだ知らないことがあり奮闘する毎日です。供用開始から20年以上が経過し不具合箇所もいろいろ出てきていますが、職員一丸となって維持管理しています。

今後はストックマネジメントにも取り組んでいかなければなりません。



石井水処理センター管理棟

カラーマンホール蓋のデザイン

近年、各種メディアで取り上げられブームとなっているマンホール蓋。昨年、「マンホールサミット埼玉2017」が開催され、埼玉県下のマンホール蓋が大集合!坂戸、鶴ヶ島下水道組合でも坂戸市の花であるサツキ、鶴ヶ島市の花であるツツジをデザインしたカラーマンホール蓋を展示しましたが、普段使用しているマンホール蓋はカラーではなく、サツキとツツジの区別がはっきりしないちょっと地味なもの…。

そこで若いGJの出番です。坂戸市イメージキャラクター「さがるん」と鶴ヶ島のイメージキャラクター「つるごん」を融合させたカラーマンホール蓋を作成しました。多くの子供達や女性が喜びそうな可愛らしいデザインです。子供達にも興味を持ってもらえるかな?下水道PRのため今後は坂戸市、鶴ヶ島市の玄関口である駅付近、両市役所、組合玄関に設置される予定です。併せて今話題のマンホールカードも作成します。ご期待ください!



マンホールサミット
埼玉2017で展示した
マンホール蓋



坂戸、鶴ヶ島下水道組合について

埼玉県西部に位置する、坂戸市、鶴ヶ島市は従来静かな農村地帯でしたが、昭和40年代に入り、首都圏45キロメートルという地理的条件から、大規模な住宅団地等の建設が始まりました。この建設を契機として周辺の開発も進み、その排水による河川等の汚濁、雨水による浸水等が懸念されたので、当時の坂戸町と鶴ヶ島町との協議に基づいて、公共用水域の水質保全に資するため下水道事業を広域的に処理するための一部事務組合として、昭和43年2月1日に発足しました。外部の研修会等に参加した際、自己紹介すると「どういう団体ですか?」と不思議がられることもあります。れっきとした特別地方公共団体です。

わが町自慢

よさこいは振付や衣装が自由なので、子どもから大人まで幅広い年齢層が参加でき、各チーム豊かな演舞が沿道の多くの観客を魅了します。数多くの出店もあり、食べてよし、観てよし、参加してよしと三拍子揃った、1日中楽しめるお祭りです。(坂戸市HPより)

坂戸市「坂戸よさこい」
すねおりあまこい
鶴ヶ島市「脚折雨乞」

竹と藁で作られた長さ36m、重さ約3tもの巨大な龍蛇を担いで市内を練り歩きます。脚折地区白鬚神社を出発した龍蛇は雷電池までの約2kmを渡御し、池の中で大暴れした後、その場で解体されます。4年に1度オリンピックの年に実施されます。(鶴ヶ島市HPより)

私の下水道

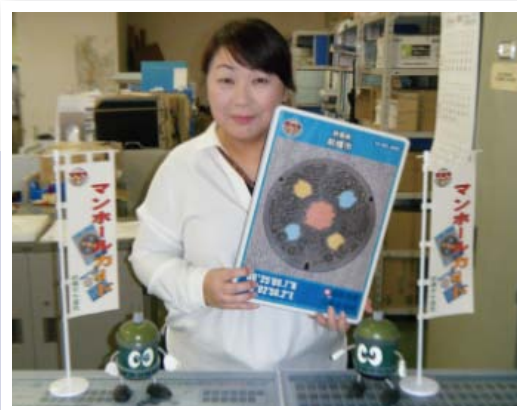
My Gesuido

群馬県前橋市
水道局下水道整備課

本間 久美

【仕事の紹介】 計画担当として下水道事業の基本計画、事業計画等の策定や、下水道台帳管理システムの更新、マンホールカードの配布など、色々やっております。

【ひとこと】 下水道一筋ではありませんが、GJ歴は通算11年、周りにあまり女性がいないため、ワークショップでは、楽しくてちょっとしゃべりすぎました。



前橋市の下水道

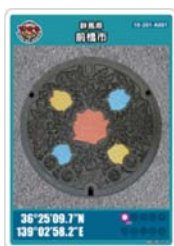
前橋市は、南北に利根川が流れ、北には上毛三山のひとつ赤城山を有する水と緑に恵まれた土地です。

本市の下水道事業は、昭和27年度に事業認可を受け、翌28年に市街地中心部の合流地区の整備を開始しました。また、昭和57年からは、利根川上流流域下水道(県央処理区)に参画し、分流地区の整備に着手しました。

平成28年度末現在の下水道人口普及率は70.5%、農業集落排水やコミュニティプラント、合併処理浄化槽等を合わせた汚水処理人口普及率は91.5%となっています。

マンホール鉄蓋 LOVE

各種メディアで取り上げられ、話題となっているマンホールカード。前橋市でも平成28年12月よりカードの配布を行っています。右の写真は、前橋市のカードです。市の花である「バラ」がデザインされており、花の部分には、カラーのタイルがはめ込まれています。



カードの配布を機に、前橋の下水道を知ってもらおうとアイデアを出しあったところ、カードが好評なのだから実物も売れるのではないかと提案が。初めてのことで、どの程度の需要があるかも分からず、とりあえず10枚を販売しましたが、売れ残るところか200件近い応募があり、全ての蓋が抽選となる結果に、関係職員はビックリでした。また、テレビをはじめとする各種メディアの取材を受けたり、マンホールマニアの集いに呼んでいただいたり、鉄蓋売却の影響は大変なものとなりました。マンホール版



画でTシャツを作りました。マンホールスタンプを用意してカード配布場所に設置しています。次は何をやってみようかと、関係職員のマンホール愛は、今も上昇中。今後も前橋市のマンホールに注目!です。

災害用マンホールトイレ

前橋市では、平成27年度に下水道業務継続計画(BCP)を策定し、ワーキンググループによる定例会や勉強会、訓練等を継続して行っています。平成29年度には、水道局の敷地内に国が推奨する構造を有したマンホールトイレを設置しました。

また、熊本地震等で災害対応実績のある上水道関係者のアドバイスにより、トイレの近くに災害用給水栓を設置するための給水工事や使用方法の案内看板もあわせて整備しました。



今後は、水道局の防災訓練だけでなく、地域の防災訓練やイベント等の際に仮設トイレとして使用してもらおうなど、広く市民へのPRを行っていきたいと考えています。

わが社自慢 前橋市 Gijutsu-Joshi



残念ながら、現在、前橋市のGJは私ひとりなのですが、技術系の女性職員は人数も増え、精力的に活動しています。平成28年度から実施している「環境すみずみパトロール」では、女性目線で現場のパトロールを行い、安全で清潔な工事現場、女性の働きやすい建設業界の実現を目指しています。また、作業着についても、女性職員を中心に選定し、平成30年度より女性専用作業着が導入されることとなりました。着心地もデザイン性も抜群です!!



私の下水道

My Gesuido

千葉県船橋市
下水道部下水道建設課

北村 優佳

【仕事の紹介】 下水道管布設工事の監督業務をしています。左の写真は先輩が担当している現場の管の中に入ったときのものです。

【ひとこと】 最近、外を歩くときはマンホール蓋が気になって下を向いて歩きがちです。



●●● GJになって1年が経ちました

約1年前、大学を卒業して船橋市に入所しました。配属先は下水道建設課。そもそも下水道ってなに……?というところからのスタートだったので、昨年度は下水道についてたくさん学んだ1年間でした。下水道はマンホール蓋しか表に出ていないので、その下がどんな風になっているかなんて今まで想像したこともありませんでしたが、下水道分野で働くようになって、下水道はわたしたちが快適な暮らしをするためになくてはならないものだとことを知りました。

私の主な業務内容は、下水道管布設工事の監督業務です。下水道の知識は全くないし、現場経験もなかったので、はじめの頃はとにかくたくさん現場に連れて行ってもらいました。その後、私が担当する工事が着工し、それが少し前に完成しました。先輩方にたくさん助けていただいたおかげで無事に竣工を迎えることができほっとしています。

あっという間に1年が経ち、もうGJ2年目。この1年間で学んだことを活かして2年目はもっとバリバリ頑張ります!

●●● 船橋という地名の由来とカラーデザイン蓋について

その昔、市内を流れる「海老川」は現在より川幅が広く、水量も多かったため、橋を渡るのが困難だったそうです。そこで舟を数珠つなぎで並べて上に板を渡し、橋の代わりにしたことから「船橋」という名がつけました。

船橋市のマンホール蓋のデザインにも船が使われています。「一目で船橋市とわかるマンホール蓋」をテーマに市民デザインを募り、その応募作品の中から決まったそうです。

船橋市のマンホールカードは、船橋市役所5階下水道河川計画課で配布しています。



●●● 船橋市の「下水道の日」

船橋市では、地域みなさんに下水道についてもっと知ってもらおう!ということで、毎年お盆期間に合わせて下水道の日イベントを開催しています。下水道に携わる課の担当者が何度も打合せを重ね、準備します。イベントの内容は、下水道に関するパネル展示、展示パネルから答えを見つける下水道クイズ、市内の小学生を対象とした絵画・書道コンクールの作品展示、下水処理施設見学などです。絵画・書道コンクールは毎年たくさん応募していただいています!昨年度は、初の試みでガチャガチャマシンを用意し、それを下水道クイズの景品にしてみたところ、大盛況でした。



わが社自慢

ワークライフバランス大事!



私の職場はノー残業に対する取り組みに積極的です。そのため、誰かに負担が集中してしまわないよう、みんなで支えあって仕事に取り組んでいます。

周りの先輩方も、それぞれ趣味や好きなことがあって、ワークライフバランスが充実している印象です。ちなみに私は今「けやき坂46」にはまっています、仕事が終わったあとライブに行ったり、休みの日に握手会に行ったりしました。

同じ係の先輩方とは定期的に飲み会を開催するなど、職員同士の仲も良く、楽しく働いています。

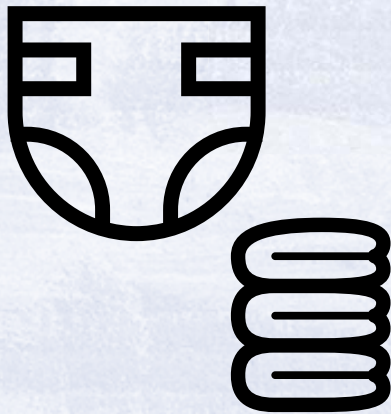


下水道への期待

国で高齢化社会への対応のため、紙おむつを下水道で受け入れる検討を始めたというテレビニュースを見ました。下水道関係者として、検討していることは知っていましたが、テレビの取材では、介護施設や高齢福祉施設で大量の紙おむつがゴミとなっていて、現場は大変だということを知りました。もちろん課題も多いですが、技術開発で何とか下水道が社会のお役に立てるよう願っています。

ところでテレビを見ていて思ったのですが、今まで人口減少で下水の水量が減って下水道使用料が減収になることは意識していませんでしたが、介護施設などであんなに紙おむつがゴミとなっているというところは、それだけトイレに行く回数も減っているんだと感じましたね。ペットのうんちなんかはトイレに流してはいけませんが、知っていましたが、介護士さんが高齢者の紙おむつを外して、汚物をいちいちトイレに捨てると思えません。少なくとも小の方は、トイレのフラッシュ回数が減っているはずで

地下カンプさんが管理人を務めるブログ「YOUNG 下水道season2」に寄せられたコンテンツの中から、GJ Journal事務局がおススメの記事をご紹介します。



すよね。それにうんちが下水道に流れてこないというところは、下水処理場への流入負荷も減っているはず。全国的介護施設等入居者100万人規模で、どのくらいの水量と流入負荷が減っているのか気になりますね。誰か偉い人に、紙おむつ効果で下水道がどのくらい助かっているのか調べて欲しいものです。



地下カンプさんの仲間 幹太さん

Profile

下水道と競馬とゲームを愛する風来坊(♂)。ブログ「YOUNG 下水道season2」に、定期的にコンテンツを更新中。下水道のトピックのみならず、あらゆるジャンルのよもやま話を掲載している。

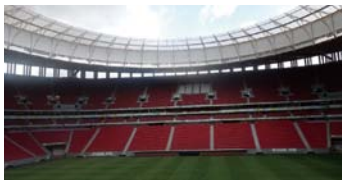
地下カンプを流れるよもやま話
GJ Photo Snap



GJが街で気になったことや話題のモノを写真で紹介します。今回はブラジルと今年、下水道展が行われる北九州から報告です。

みんなで行こうよ!下水道展'19北九州

7月に下水道展が行われる北九州市内の様子を紹介します。

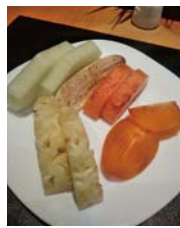


◀ブラジルに行ったGJから情報提供いただきました!上のスタジアムはリオ五輪でサッカー会場として使われていたエスタジオ・ナシオナル・デ・ブラジリア・マネ・ガリンシャ。広そうですね~

◀ブラジル料理は甘いかしょっぱ過ぎるか、油がすごいのかの三択(GJの個人的感想)でしたが、なんと「柿(右)があったとのこと。日本で慣れ親しんでいる味がブラジルにも受け継がれているんですね。



◀なんと三角形のマンホール蓋を発見!上下水関係の企業のものなのですが、どうやって開けるんでしょうか??



◀市内を流れる紫川。昔は川が汚れていましたが、下水道の普及によりきれいな水環境が取り戻されました。また、小倉城も徒歩圏内にあります。天守閣からは街が一望できますよ!散策にはちょうどいいエリアですね。



◀紫川を渡る橋の上に突如オブジェが複数体現れました!地元ではマカロニ星人と呼ばれるそうですよ。ぜひ探してみてくださいね。



▲どんぐり(左)とひまわり(右)がデザインされたマンホール蓋を見つけました。どんぐりは市の木「イチイガシ」、ひまわりは市の花だそうです。

マンホール蓋から 下水道を知ってもらうためには

～G&U技術研究センター施設見学 およびワークショップを開催しました～

GJリンクでは、平成30年1月17日に埼玉県川島町にあるG&U技術研究センターで平成29年度全国ワークショップを開催しました。全国の地方公共団体、関係団体、民間企業等から、58人のGJが参集し、同センターの施設見学会とワークショップを行いました。

日頃見ることのできない実規模での試験の様子を見ることができ、貴重な経験となりました。



開会あいさつ



森岡部長



山木所長

冒頭には森岡泰裕・国土交通省下水道部長からビデオメッセージが流され、「今後の持続と進化のため、GJの皆さんにぜひ新しい目線で議論と提案をしていただきたい」と呼びかけていただきました。

また、今回の会場をご提供頂いたG&U技術研究センターの山木幸夫所長にも挨拶をいただき、GJリンクの活動に対しエールを頂きました。

施設見学会



施設見学会では、雨水が急激に流れ込んだ際の水理現象を見ることができる水理モデル試験や蓋の浮上試験、また、蓋表面の滑りを検証する耐スリップ試験等を体験しながら見学しました。

G&U技術研究センターの方に丁寧に説明して頂きました。



▲蓋の滑りやすさを体験！蓋の表面がすりへっていると、びっくりするくらい滑ります！



▲管路内の水理現象の再現ができる検証設備では、蓋が飛散するときに管内でどのような現象が起きているか、確認しました。



▲東京オリンピックが開催時に、国立競技場に設置されたマンホール蓋や東京駅に100年設置されていた柱なども展示されていました。

ワークショップ



10班に分かれ発表を行いました。

施設見学後、ワークショップを行いました。

①見学を踏まえて発見したこと、②マンホールを入口に下水道広報を考える、の2テーマで議論しました。①では、「マンホール蓋の技術変遷、維持管理の重要性が分かった」、②では、「マンホールウォーキングイベントを行う」、「蓋はデザインで周知されてきたので下水道管と処理施設を見せる取り組みを行う」、「デザインだけでなく、技術・材料のPRも行う」といった意見が出てきました。

後日に行ったアンケートでは9割の方に満足いただける結果となりました。

最後に、開催に協力して頂きましたG&U技術研究センターの方に御礼を申し上げます。

写真やメモを熱心にとるGJが多く、ワークショップも盛り上がり、非常に意義深い企画となりました！



GKP HOTNEWS



下水道広報プラットフォーム

お知らせ

マンホールカード第7弾発行

～初参画の49自治体のマンホールカード、ついにお披露目～

マンホールカードの第7弾が、満を持して4月28日(土)より配布を開始しました。

この度新たに発行したマンホールカードは全49種。いずれもマンホールカードの発行が初となる全国49の自治体が新たに加わりました。

第6弾に続いて、第7弾のマンホールカードも全て土日配布に対応しており、多くのマンホールカードコレクターが集めやすい環境に。

これまでの累計発行数に第7弾を加えると、マンホールカードの累計発行数は342種類(301自治体)。いつかコンプリートしたいけれど、果たしてどれくらいかかるのでしょうか…。



お知らせ

第6回GKP広報大賞、募集開始

～皆様からの積極的なご応募をお待ちしております～

広島東洋カープの下水道選手と下水道の異色のコラボが話題となった、広島市下水道局の下水道PRポスター。異業種とのコラボが様々なメディアで話題となり、第5回GKP広報大賞で栄えあるグランプリを受賞しました。

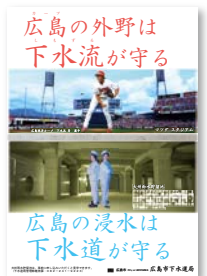
GKPでは、本年度も「GKP広報大賞」を募集します。下水道界で展開されている広報活動のうち、下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる広報活動事例を表彰し、下水道界に広く普及されていくことを目的に行われている「GKP広報大賞」。本年度はエントリーの枠組みを見直したほか、実施要領の改定を行っています。

受付期間は4月16日(月)から5月18日(金)まで。
皆様からのご応募、お待ちしております。

GKP広報大賞の募集ページはこちら

<http://www.gk-p.jp/taishou30.html>

広島市下水道局提供



お知らせ

未来会イベント参加者が1,000人を突破

～下水道界の魅力をより多くの学生に～

下水道を未来につなげる会(未来会)は、2017年12月13日(水)に東京都市大学世田谷キャンパスで、2018年2月20日(火)に東京都市大学横浜キャンパスで開催された業界研究会

このたび開催された東京都市大学業界研究会をもって、未来会が実施するイベントに参加した学生が1,000名を超えました。今後も引き続き、多くの学生の皆さんに下水道の魅力を発信していきます。本業界研究会は、就職活動が本格化する直前に開催



新しくこの4月から企画調整係に着任しました、見正(みしょう)と申します。今回初めての登場かと思いきや、Vol.9の北海道特集で紹介されていました。いまや広島のに帰った二川前係長から紹介されていた、冷蔵庫や電子レンジ、食器すらすら家がない係長とはこの私のことです。(覚えてないかと思いますが..)

このままだと憲法第25条の最低限度の生活を営む権利に抵触しているのではと思われがち(?)ですが、休日は、旅、ドライブ、山登り、写真、映画鑑賞、麻雀、ラーメンめぐり、温泉めぐりをするなど、家電がないながらも人生楽しんでいるつもりです。趣味が講じて、ホームシアターやフルサイズ一眼や持ち合わせていますが、その前に買うものがあるだろうとよく叱られます。

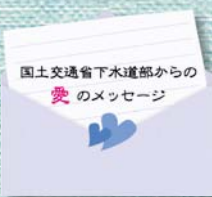
前置きが長くなりましたが、どのような仕事をしているのか、ひとことで表すのも難しいですが、下水道の広報も担当しています。昨年度まではゴリゴリの予算を担当しており、広報に触れる機会があまりなかったのですが、どのような方法でどのような人へ下水道の必要性や役割をご理解いただくか、このGJジャーナルからもいろいろ学ばせて頂いているところです。

ちなみに現在下水道部では奥の方にいるのですが、大体話しかけられるとヒックと立ち上がりますので、ぜひお気軽にお声かけください!どうぞよろしくお願いたします<m(_)_m>

(下水道企画課 見正大和)



真ん中が筆者(職場旅行会の写真)



vol.13

GJ Columnでは
毎号皆さんに役立つちょっとした小ネタを紹介していきます。
時間のある時に読んでみてください。
皆さんの生活に下水道が少しだけ近づいた気分になるかもしれません。

全国ご当地マンホール
よろずマンホール



vol.14

北杜市(山梨県)のマンホール

ドライブ中に見つけたマンホール蓋。北杜市は、7つの町村が合併して発足された市ですが、こちらのマンホール蓋は旧北巨摩郡高根町(たかねちょう)の蓋だそうです。

身体に巻きつくほどの長い尻尾を持つ牛をメインに、背景には八ヶ岳とそこから流れ出る清流、かやぶき屋根の家々が描かれています。ドライブ中に車をわざわざ停車して(写真)撮りに行ってしまったほど、キュートな牛のデザインに癒されました。



下水道に優しい生活
vol.14

キャンプ場では水を汚さない工夫を!!

とあるキャンプ場を訪れた時のこと。炊事場の排水がパイプを通して川にそのまま流れていくのを目撃し、複雑な気持ちに。

キャンプ場の中には合併処理浄化槽が設置されているところもあるため、その場合排水が直接川へ流れていくことはありませんが、合併処理浄化槽が設置されていない規模の小さいキャンプ場では、未処理の汚水が直接川へ流れて行きます。

炊事場の排水が川へそのまま流れていくようなキャンプ場を訪れた際には、食べ残しや飲み残しをしない、洗い物は極力減らす、お皿は紙ナプキンでふき取ってから洗う等、水を汚さない工夫をしましょう。油まみれの食器や鉄板をふき取らずに洗剤をたっぷり使って洗うなどは言語道断です。



アウトドアと水の関係がわかる「OUTDOOR by Water'n」も是非読んでみてくださいね。
<http://water-n.com/news/1067/>

LEAN IN(リーン・イン)
女性、仕事、リーダーへの意欲

シェリル・サンドバーグ(著)

本書の著者はフェイスブックの最高執行責任者を務める女性です。アメリカの優秀なキャリアウーマンと日本の事務社員の私と共通点などないだろう、という思いでこの本を読みはじめましたが、女性が子どもを持ち働く心境は世界共通であると強く感じました。また「2011年のマッキンゼー・レポートにも男性は可能性を買われて昇進するが、女性は過去の実績で昇進すると書かれている」とも記されており、結婚の有無にかかわらず、働く女性にとって胸に刺さる言葉がちりばめられています。(C.K.)

(2013/6/26)



下水道女子がおすすめ

今月の一冊



見つけちゃった!
下水道あんなニュース
こんなニュース vol.13

下水道で
ピラニアが発見されて大騒動!!

下水道には本来流れちゃ困るような様々なものが流れているようで、大きなものだと畳まで流れてくると聞いたことがあるのですが、まさか下水道にこんなものが流れているのかとびっくり仰天なニュース。

イギリスのチチェスターという町の下

水道で、人をも食いちぎると恐れられている肉食魚、ピラニアが発見されたそうです。発見者は下水道の点検を行っていた水道会社、サザン・ウォーター社のスタッフ。幸いピラニアは既に死んでいたらしく、何事もなかったらしいですが、もしピラニアが生きていて、万が一下水道の中で増殖していたとしたら???もしかしたら指1本くらい食いちぎられていたかもしれません。

サザン・ウォーター社のニコラさんは、「トイレに流して良いものは3つのPだけ。オシッコとウンチ、ペーパーだけだよ。」と

コメントしています。そもそも論として、トイレに流してはいけないものをしっかり学んでいただきたいところですが、ペットとして飼育していたピラニアをトイレに流すという非情な行為にびっくりです。



<https://www.telegraph.co.uk/news/2018/03/29/piranha-fish-found-chichester-sewer-water-company-pleads-flush/>

GJのつぶやき

日常の業務の中で、大変だったことや嬉しかったこと、提案したいことなどをつぶやき形式で紹介します。
第15号は、関東GJからのつぶやきです。

もっと若い時にGJあったら良かったな～(Y.K)

マンホールカードの配布を始めて、
窓口に女性やお子さんが来るようになって嬉しい！！(N.H)

事務職だから支給も借与もないけれど、現場へは行く！
作業服と安全靴ください！（匿名）

ワークショップに参加して

GJワークショップ初めての参加でした。
マンホールを学ぶことで下水道の世界が広がりました。(Y.N)

下水道を愛する女子のつどい。Good Jobでした。♥
良い機会がもてて良かったです。有難うございました！（S.H）

全国から60人もGJが集まる感動的なワークショップでした。(M.M)

マンホールの中に転落防止はしごが設置されてる！スゴイ！！(N.T)

次号 予告

次号は東北特集です！ (6月発刊)

編集後記

GJ Journal関東特集はいかがでしたでしょうか？

今号では1月に開催した平成29年度全国ワークショップの様相を収録しました。当初の想定人数よりも多くの、そして熱心なGJにお越しいただき、事務局としては、嬉しいやらバニくるやらの一日でした(笑)。

ワークショップでは、事務局で提示したテーマに真剣に挑んでいただきました。発表してもらおうと「そんな考えがあったんだ！」と驚きを感じさせるものばかりでした。

ワークショップが終了後に口ぐちに言われたのが「こんなに実りのある会合だと思わなかった」との言葉。ワークショップ中においても、相互に高め合っているGJパワーを実感する一言でもありました。

そのようなわけで、ぜひ上司や同僚のGDの方にもGJを快く送り出しいただきたいと思います！GJ育成のためにもご支援お願いいたします
m(_)_m

GJ Journal 関東特集の作成に当たり、多くの方々のご協力をいただき、本当にありがとうございました。（ユードリナ）



GJ Journal Vol.15 関東特集

平成30年4月発行

発行：下水道広報プラットフォーム(GKP)
編集：関東特集編集委員
GJリンク事務局
下水道広報プラットフォーム(GKP)事務局
(公社)日本下水道協会広報課
デザイン：株式会社紙藤原

※「私の下水道」、「地域別特集」および「編集委員」に記載されている所属は平成30年3月末時点の所属です。

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同僚がいない、ロールモデルとなる先輩女性がいけない等の悩みをもつことも多いようです。

そこで下水道広報プラットフォーム(GKP)内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会(愛称：GJリンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。

GJリンク事務局

日本下水道協会内
GKP事務局(広報課)内
TEL:03-6206-0205

URL: <http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>



GJML会員は、随時募集中！
詳しくは、GJリンクHPまで

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>

GJリンク

検索